

# 主任報告、「マナー・ チェックシート」拒否に 口頭注意の処分通告

名古屋地本  
組合員  
無期限出勤停止  
続く

名古屋地本・加藤さんへの会社資料「窃盗コピー」を名目にした無期限出勤停止の不当処分に抗議して続けられていた地区分会有志による主任報告（レポート）、「マナーチェックシート」（東京駅）の不提出、拒否のた

たかひに対し、東京駅、新横浜駅では事業本部長名での口頭注意処分が各駅で行われた。通告は10日以降順次該当者に対し、東京駅長室、また新横第2別室で、それぞれ駅長から関係管理者らを前に行

われた。

組合員による提出拒否の取組みは、会社側による加藤さんへの状況証拠だけによる不当な犯人扱いとこれに基づく出勤停止処分などに抗議した非協力運動の一環として取り組まれているもの。組合は「不当な就労制限、名誉毀損による損害賠償、減額給与の補償」を求めて提訴している。

提出の拒否をしている主任報告は会社側が「窃盗コピー」したとする労組対策をも内容として扱った当の報告書、また「チェックシート」は社員間に不評な毎日の自己申告用紙。これらに対し現場管理者は点呼時の訓示や、各自への現認通告などで圧力を続けている。

## 直通EV使用禁止の意図は

鉄警、新詰所、内勤と続くスロープ

## 新横営業第2、本詰所に移転

8月1日より、懸案であった新横浜営業第2の本詰所が、駅ビル1階の北口～篠原口通路に開設、移転した。新しい詰所は、昨年の第2新設時の篠原口と北口乗降場脇と2回の仮設移転を経ながら、今回ようやく内勤と隣り合わせの本詰所への

移転となった。本詰所は業務的には十分の広さを有しているとはいえ、これまでの1階から3階ホームへの直通エレベーターは使用禁止となった（1階から2階、2階からホームへの限定使用）。その理由は明らかにされていない。

戦後（19条憲法）  
レジームからの脱却  
を掲げた安倍政権が  
自らその政権を放り  
出した。すっかり影  
を失ったかの日本の  
左翼勢力に乘じ、改憲まで  
一気に押し進めようとした  
右翼陣営も、思わぬ政治状  
況の混乱に足元をすくわれ  
たのではないか。改憲はお  
ろか、せつかく既成事実化  
してきた自衛隊の海外派兵  
（イラク戦洋上補給）の実  
績も、ことによると大きく  
後退し、これを機に自らの  
政治生命を危ぶむ輩らも決  
して少なくはないはずだ。  
社会的な問題に総括的一括  
的な解決などない。その原  
理的な処方箋として政治的  
な取組みがあるだけだ。労  
働組合もまた一つの政治勢  
力には違いない。

一寸五部